


●ガバナー 今井 高志 ● 会長 西村 幸也 ● 幹事 西尾 和樹 ● コミュニケーション委員長 熊谷 道雄

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/

 Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2016/

## 第 2106 回 例会 記 録

《青少年奉仕委員会担当例会》

2019 年 5 月 23 日 (木)

点 鐘 12：30

レポ ー ト No. 1538



### 《ゲスト》八戸高校 I A C

川崎和奏さん、泉水梨乃さん、佐藤美紅さん、  
湊 梨々子さん、村上結花さん、近藤桜岬さん、  
佐藤るのさん、奈良侑香さん、田名部優花さん、  
木村香織先生

### 《ビジター》

宮本佳悦様 (南部 R C)

### 《会長要件》西村会長



皆さん、こんにちは。そして八高インターアクトクラブの皆さん、ようこそ。

先日の蕪島清掃ではご苦労さまでした。八高インターアクトクラブは 1981 年に創立されていますので、その時以来、八戸南ロータリークラブとの連携は 38 年間になろうとしています。個人的なことを申し上げますと、10 数年ほど前のことですが、私の次男が高校生の時に「八高祭」を見に行っていたことがあります。その時に、インターアクトクラブの展示ブースを初めて見ました。私はまだロータリーに入会していませんでしたので、息子に「インターアクトって何？」と尋ねてみたところ、息子もよくわかっていなかったことを思い出し、今振り返ると認識不足で恥ずかしい限りです。

さて、5 月はロータリーにとって大切な「青少年奉仕月間」です。今日何をお話ししようかと「ロータリーの友」5 月号を読んでいて、その 20 ページに載っていた元ロータリー・グローバル奨学生だった女性が、アメリカ留学中に NPO 活動で学んだ「レジリエンスの大切さ」という記事に目がとまりました。

八高生の皆さんは、レジリエンスという言葉を知ったことがあるでしょうか？ 日本語では、「復元力」、「回復力」というふうに訳されていますが、レジリエンスはその記事にもあるように、第 2 次世界大戦中、ホロコーストと呼ばれるユダヤ人大虐殺を生き延びた人々のその後の人生を追跡調査するなかで使われ始めた言葉です。

### 《出席報告》原委員長



正会員数 36 名。本日の出席は免除会員 4 名を含む 25 名。出席率は 71% です。前々回の例会は、次年度会長担当例会で、出席率 73% でした。

弾圧・虐殺という過酷な体験を経て、そのトラウマで生きる気力をなくする方がいる一方で、そこからはい上がって逞しく成長した子供たちもいる、その回復力を「レジリエンス」という英単語で表しています。これは、個人のレベル、組織のレベル、あるいは国のレベルでも使われています。例えば日本は国としてはレジリエンスが高い、と言われていています。阪神淡路大震災の時、そして東日本大震災の時、日本では暴動が起こることもなく、強い忍耐力で復興に取り組み世界から賞賛されました。その一方で、個々の日本人、特に日本の若者のレジリエンスは高くない、と危惧されています。つまり、失敗や挫折から長く立ち直れないということです。皆さんの目下の大きな課題は大学受験だと思います。再び卑近で個人的な経験を申し上げますと、私は皆さんと同年代の頃 大学受験で失敗し第 2 志望の大学に進学しましたが、そのあと 2 年間くらい空しく失意の日々を送りました。第 2 志望であろうと、そこで頑張れば良かったのですが、レジリエンスが弱かったのです。それほど大ごとでなくても、皆さんも日常友人関係で悩んだり、あるいは試合で負けたりして落ち込んだりする事はよくあるかと思えます。そういう失敗や挫折を乗り越え、そこから何かを学び取って力強く前に進む、そういう力や知恵を身につけることが、特に若者だけとは限りませんが、求められています。段々説教臭い話になってきて、皆さんは学校でもうんざりしていると思いますので この辺でやめますが、最後に、レジリエンスを身につける方法。本でもネットでも調べるとたくさん書いてありますが、私が一番「そうだ！」と納得できたのは、若いうちからできるだけたくさんの経験を積むこと、そして多くの人と関わってみること、です。皆さんのインターアクトでの活動がその一助になってくれるなら、これほど嬉しいことはありません。

## 《幹事報告》西尾幹事



・現・次年度の委員長さんのレターボックスに各種報告依頼が入っていますのでよろしくお願いします。  
・皆様のレターボックスにロータリー手帳が入っています、使わない方は事務局へお願いします。

- ・来週と再来週は例会が休みで次回は6月13日です、例会終了後に委員長の引継ぎがあります。
- ・例会変更のお知らせ、八戸RC 6月5日(水)日時変更、6月30日(水)時間変更、八戸東RC 6月28日(金)時間変更、八戸北RC 6月25日(火)時間変更です。
- ・8月3日のIMの出欠確認を回しています、多くの会員のご協力をお願いします。
- ・ハイライト米山が届いています。
- ・6月29日(土)の南部RC創立50周年記念式典・祝賀会の申し込みは今日までです。

## 《次年度幹事報告》伊藤次年度幹事



・第3回の次年度準備理事役員会報告  
○次年度の例会プログラム案、予算案、委員会組織案を審議し承認されました。一部訂正等ありますので訂正後に皆様にお知らせします。  
○次年度の副会長予定者である三浦晃会員より体調が思わしくないで辞退したいとの申し出があり受理されました、新しい副会長予定者は決まり次第お知らせいたします。

## 《ニコニコボックス》本多委員

宮本佳悦様(南部RC)：ニコニコ

西村会長：八戸高校インターアクトクラブの皆さん、ようこそ!

西尾幹事：八戸高校インターアクトクラブのみなさん、よろしくお願いします。

米内会員：八高の皆さんようこそ

伊藤会員：八高 IAC の皆様ようこそ、今日はよろしくお願いします。

吉田賢治会員：南部RC 宮本様、八戸高校インターアクトの皆様ようこそいらっしゃいました。

三笠会員：八高インターアクトクラブの皆様、よろしくお願いします。

本多会員：八戸高校の皆様、ようこそ



## 《ご挨拶》宮本佳悦様(南部RC)



皆さんこんにちは、今日はお願いに上がりました。私たちのクラブが今年50周年を迎えることになりました。人数が少なく頑張っているところですが、今年もサクランボ狩りとバーベキューと式典と場所は移動しますけれども6月29日

土曜日に行います。今年は天候が良いのでサクランボがとても美味しいのではと思っていますので是非皆さんにご参加いただきたいと思いお願いに参りました。今日が締め切りだそうでグッドタイミングでした、ご検討よろしくお願いします。

## 《青少年奉仕委員会》三笠委員長

八戸高校インターアクトクラブ顧問の木村先生初め生徒さんに来ていただいています。今日は9名の生徒さんにこれまで活動に取り組んだ内容等について報告をしていただくことにしております、それでは自己紹介をしながら各自がボランティア等に取り組んだ内容について発表していただきます。よろしくお願いします。



## 年次大会に参加して

### 3年 村上結花



私は初めて年次大会というものに参加して、同じ県の中に、同じような活動をしている人が、年齢問わず、沢山いると知って改めて、奉仕活動は、幾つになっても大切であり、それをし続けることもまた大切であるということが解りました。

また、2つの講演を聞きましたが、1つ目の講演では、地元を大切にすることを、2つ目の講演では、動物の命も人の命も同等であり、そこから、命の尊さを学びました。夜の交流会では、他校の人も同じようなラフな人たちで、学年や性別の垣根を越えて楽しむことが出来ました。2日目は、初めて朝市に行き、スーパーよりも新鮮で安価な物たちを見て感動し、工場見学では、身近な電気の発生源を詳しく知ることが出来ました。この貴重な体験を通して、周りに新たな風を吹かせ、また、この活動団体を広めることが先決だと思いました。

## 24時間テレビ募金活動に参加して

### 2年 奈良 侑香

24時間テレビはいつもテレビで見ただけで、活動などにたずさわったことはありませんでした。ですので、初めてのあのテレビの画面で見ていたTシャツを着て募金の呼びかけをする、ということにわくわくしていました。



当日の朝、集合場所に集まると、1人のおじいさんが、小銭のびっちり詰まったボトルを2つ持ってきてくださいました。1年かけてため続けてくださったようです。とてもありがたい気持ちになりました。

いよいよ募金活動を始めてみると、緊張してなかなか声が出ません。店内にいる人に全く届いていないような気がして、あせってしまいました。それでも、小さな子供さんや買い物をしたおつりなどを募金してくださる人がたくさんいて、とてもうれしかったです。午後になると全員声がそろそろようになり、納得の行く活動ができました。有意義な1日にすることができました。

## 盲導犬育成募金活動に参加して

### 2年 田名部 優花

盲導犬育成募金活動はピアドゥで行われました。今回は実際に盲導犬が仙台からピーアール犬として来るという



ことで私自身もすごく楽しみにしていました。

私たちとともに募金活動を行ってくれたのはピノという盲導犬でした。二時間という長い時間だったにもかかわらず、吠えることも、どこかに行くこともなくおとなしくて驚きました。子どもたちがピノに興味を持ってくれて、たくさん質問をうける中で、子どもたちや保護者の方々に盲導犬の仕事や重要性を伝えることができたことに、私も知識を広げ、盲導犬が不足しているという問題について考える機会になりました。

盲導犬は誰かの生活と心の支えとなる存在だと思います。自分と関係があるかどうかで考えず助け合う気持ちを持っていきたいと考えるようになりました。

### 赤い羽根街頭募金活動に参加して

#### 3年 佐藤 美紅

今回のボランティア活動に参加して、赤い羽根共同募金の知名度を知りました。道行く人が「こんにちは」とあいさつに答えて下さり、募金と一緒に「おつかれさまです。」や「がんばって下さい。」と声をかけて下さいました。募金をしている時に、素通りしてしまう人もいましたが、そういう人はほとんどいなくて、「あっちで募金してきたよ。」などと笑いかけてくれました。

私が活動をしていた時に「どこに行けば、動物の先生になれるか?」と募金をしてくれた女の子が質問してきてくれて、「八戸高校に入ればなれるよ」と答えました。数年後、少女が八高に入れると信じています。

1時間半という短い時間でしたが、様々な人に出会うことができました。ありがとうございました。



### ハロウィンツアーに参加して

#### 2年 佐藤 るの



今回のボランティアは説明会とハロウィンツアー本番の2週にわたって行いました。説明会では、「ハロウィンプレイパーク」という看板をつくったり、かぼちゃやこもりなどの装飾をつくったりしました。最初はやる事が多くて大変でしたが、準備を進めるうちに他の人とも仲良くなり楽しんでやる事ができました。ツアーでは、「パンプキンポンポン」というボールを投げて箱に入れるゲームの担当になりました。保護者の方と話すときは緊張しましたが、臨機応変にやる事ができました。大人のボランティアの人たちのボランティアに対する姿勢がすばらしいと思ったので見習いたいと思います。これからも積極的にボランティアに参加していきたいです。

### はっち市ボランティアに参加して

#### 2年 近藤 桜岬

見回り、誘導、体験ブーススタッフの3つの仕事を担当しました。最も楽しかったのは、体験ブーススタッフです。体験ブースは、部屋の壁3面を埋



めつくして張られている段ボールに自由に絵が描けるコーナーでした。コップに色をつくりながら、参加者のイラストやイラストの上にまたイラストが描かれていくのを見るのがとてもおもしろかったです。誘導の仕事は、横断歩道の引かれていない車道渡る来場者に危険がないように見張ることでした。車の中から隣の車線へ飛び出す人が車にひかれそうでも危なかったです。私は気を付けようと思いました。見回りの仕事は、出来る事が少なく、何をしたらいいのか分からなかったです。同じフロアの人ともっと会話ができたら良かったかなと思います。

次は、人とコミュニケーションを取りながら参加したいです。

### クリスマス家族会に参加して

#### 3年 湊 梨々子



私は昨年クリスマス家族会に参加しました。参加は2回目でしたが、昨年もとても楽しみにしていました。当日に披露するためのダンスは、最初少し苦戦しましたが、本番までには全員で息の合ったダンスに仕上げることができました。さらに披露し終えた後にアンコールまでいただいて、ダンスは大成功だったと思います。会場の皆様のあたたかく大きな拍手がとてもうれしく、達成感を感じることができました。また、今年は去年と違い、生のバンド演奏のステージがあって、そこで「Story」を歌って下さった女性のボーカルの方の歌にとっても感動しました。音楽というものは人の心を動かす力があるのだなということも強く感じました。今年は参加できませんが、後輩たちが盛り上げてくれると思うのでぜひ楽しみに待っていて下さるとうれしいです。素敵なクリスマスをありがとうございました。

### 蕪島ゴミ拾いに参加して

#### 3年 川崎 和奏

今年の蕪島のゴミ拾いは、前日とは違ってかわってよく晴れ、ゴミ拾いにとってつけのよい天気絶好の日に行われました。清掃を始める前に、今回はゴミが少ないと言われていたのですが、実際に始めてみると、本当に少ないことを実感しました。ボランティアの存在や、蕪島を訪れる人々の意識の変化を感じ、この活動に参加してよかったと思いました。しかし、まだTシャツやなかには電気コードなど、少し危険に思われるものもあったので、これから着実に綺麗になっていけばいいなと思いました。ゴミの量が少なく予想よりも早く清掃が終わってしまい、昼食をとっていたとき、神主さんがやってこられて、神社の再建や皇位継承に関する話をして下さいました。日頃きくことのできないとても興味深い話をきくなど、地域に対する知識を深めることもできました。卒業してもボランティアを続けたいと思います。



## 蕪島ゴミ拾いに参加して 3年 泉水 梨乃



蕪島清掃に参加するのは今回で3回目でしたが、年々蕪島がきれいになっているように感じました。ゴミ拾いをする前に、「汚い場所はどんどん汚くなっていくし、きれいな場所をもっときれいになっていく」とおっしゃっていたのを聞いて、なるほどと思い、きれいな蕪島をもっときれいになるように一生懸命ゴミ拾いをしました。

蕪島は、立派な神社が再建され、菜の花と海、うみねこのコントラストがとてもきれいでした。GW中で遠くからたくさんの家族が訪れ、外国人も観光に来ていました。私自身、ひさしぶりに蕪島を訪れて、その美しさに感動したので、蕪島のすばらしさを日本中に、そして世界に発信していけたら良いなと思いました。

今回のゴミ拾いで少しでもそんな蕪島の役に立てたならうれしいです。

### 《三笠委員長》

八高インターアクトクラブの皆さん、大変ありがとうございました。ロータリーの方で開催している

ボランティア、さらには自分たちで見つけて、24時間テレビとか盲導犬、赤い羽根、ハロウィーンツアーは初めて聞きましたがそういうボランティアに参加する、参加するにはまず一歩を踏み出すことが大事です。そして募金活動を呼びかける勇気、そして周りから「有難う」「ご苦労さん」と言ってもらえた時の喜びを感じることによってボランティアの輪がさらに広がっていってくれば良いのかなと思います。今日は9名の方が発表してくださいましたが、これをご自分の財産として次のステージで生かしてもらえれば良いのかなと思います。八高生の皆さん大変ありがとうございました。

